



2024年2月期・第2四半期 決算説明資料

2023年10月24日

株式会社竹内製作所
(証券コード:6432)

▶ 2024年2月期・連結業績 上期実績

▶ 2024年2月期・連結業績 通期予想

▶ トピックス

- 生産能力の増強
(米国工場、青木工場の稼働状況)
- 足元の受注高と受注残高について
- 建設機械の電動化に向けての課題

▶ ご参考資料

決算のポイント（2024年2月期・上期実績）

（1）販売台数は欧米ともに増加

- 北米の販売台数は **+3.6%**（1Q: +17.6%、2Q: △7.7%、対前年同期比）
- 欧州の販売台数は **+7.0%**（1Q: △1.5%、2Q: +18.3%、対前年同期比）
- トータル販売台数は **+5.5%**（1Q: +6.6%、2Q: +4.4%、対前年同期比）

↓上期として

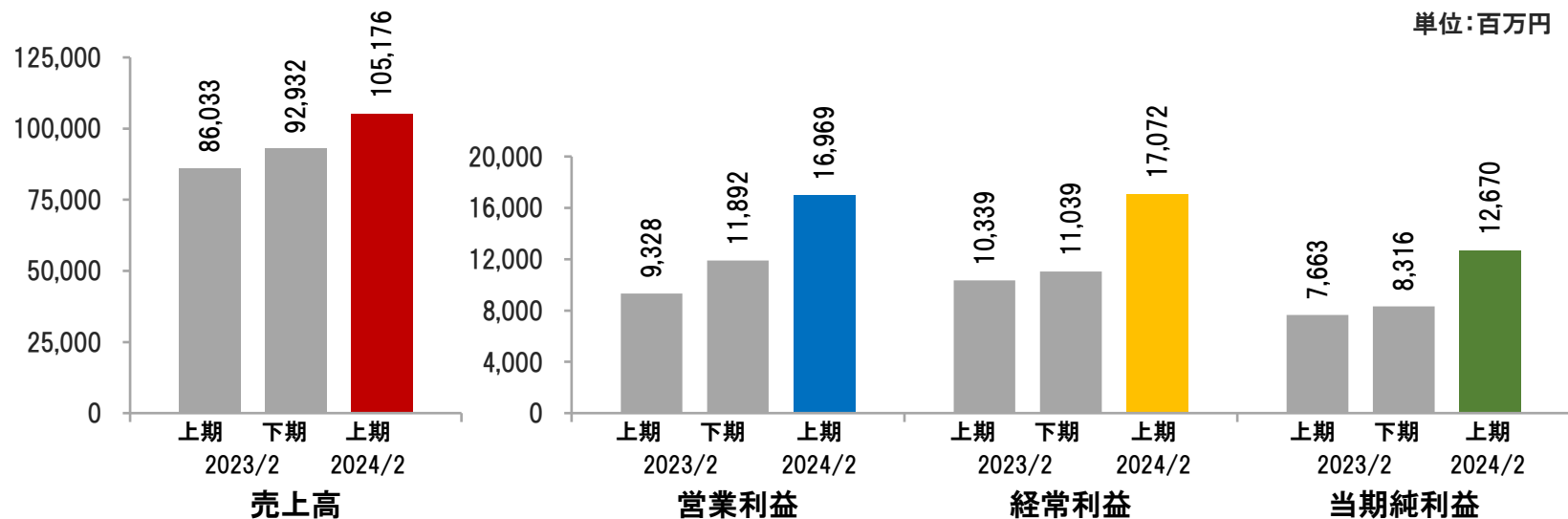
（2）売上高、利益面ともに**過去最高**（売上高は+22.3%、営業利益は+81.9%、対前年同期比）

- 金利と住宅価格の高止まりにより、住宅市場は軟化&調整局面にあるが、水道管やガス管等の生活インフラ工事は堅調で、製品需要は依然好調
- 原材料価格の上昇等の減益要因はあったものの、増収効果と値上げ、運搬費の軟化、さらには為替が追い風となり大幅な増益

(単位:億円)	2023年2月期(前期)						2024年2月期(当期)		
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期
売上高	424	436	860	468	460	929	530	521	1,051
売上総利益	98	101	199	111	119	230	129	125	255
販管費	44	61	106	64	47	111	44	41	85
└ うち運搬費	26	41	67	43	27	71	21	15	36
営業利益	53	39	93	46	72	118	85	84	169

連結業績ハイライト (2024年2月期・上期実績)

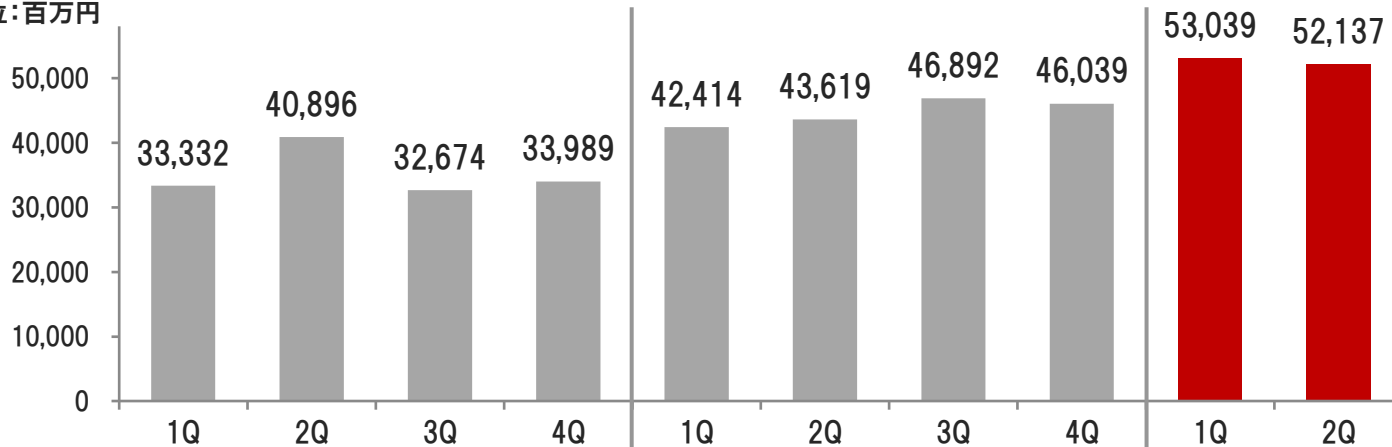
単位:百万円	2023年2月期		2024年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	売上比率	上期実績	売上比率	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
■ 売上高	86,033	—	105,176	—	+19,143	+22.3%	96,200	+8,976
■ 営業利益	9,328	10.8%	16,969	16.1%	+7,640	+81.9%	14,500	+2,469
■ 経常利益	10,339	12.0%	17,072	16.2%	+6,733	+65.1%	14,400	+2,672
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	7,663	8.9%	12,670	12.0%	+5,007	+65.3%	10,300	+2,370
設備投資額	4,959	5.8%	4,798	4.6%	△160	△3.2%	1,688	+3,110
減価償却費	780	0.9%	1,285	1.2%	+504	+64.7%	1,413	△127
受注高	130,833	—	87,309	—	△43,524	△33.3%	***	—
受注残高	178,649	—	172,880	—	△5,769	△3.2%	***	—



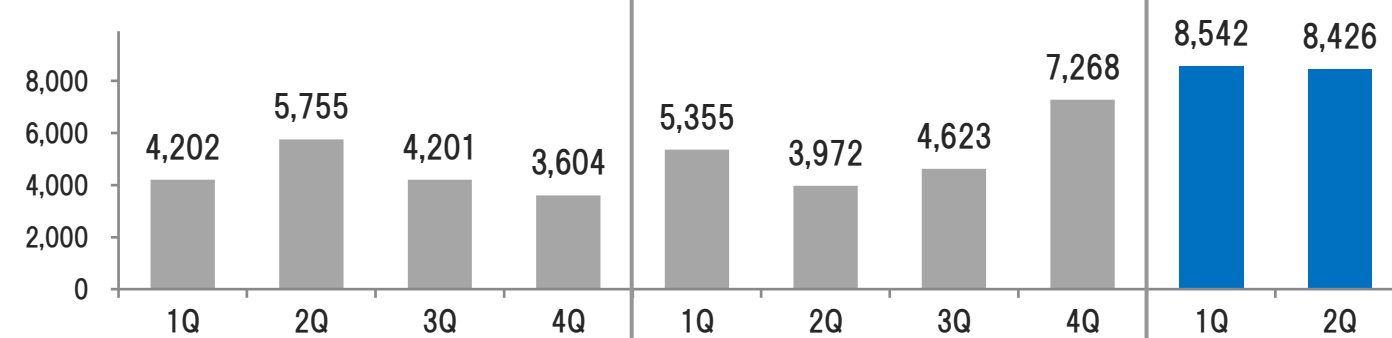
四半期毎の売上高・営業利益

単位:百万円

売上高



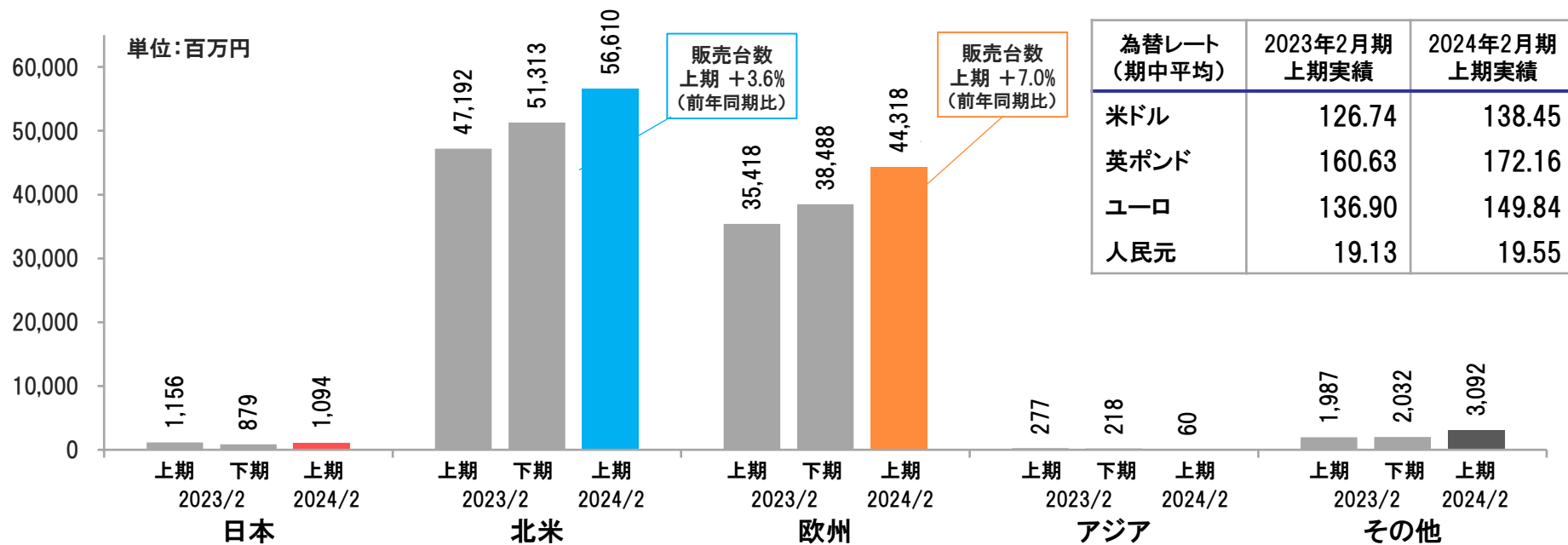
営業利益



	2022年2月期				2023年2月期				2024年2月期	
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
円/米ドル	108.89	109.96	110.66	114.70	121.43	133.43	143.54	134.12	134.74	140.48
円/英ポンド	151.26	153.60	152.21	154.07	157.87	163.51	166.55	163.00	165.80	179.25
円/ユーロ	130.43	131.70	130.56	129.41	133.83	138.77	142.85	142.51	146.10	154.14
円/人民元	16.45	17.07	17.08	17.90	18.56	19.70	20.11	19.60	19.43	19.66

地域別売上高 (2024年2月期・上期実績)

単位:百万円	2023年2月期		2024年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	構成比	上期実績	構成比	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
日本	1,156	1.3%	1,094	1.0%	△62	△5.4%	1,260	△165
北米	47,192	54.9%	56,610	53.8%	+9,417	+20.0%	51,510	+5,100
欧州	35,418	41.2%	44,318	42.1%	+8,900	+25.1%	40,900	+3,418
アジア	277	0.3%	60	0.1%	△217	△78.2%	90	△29
その他	1,987	2.3%	3,092	2.9%	+1,104	+55.6%	2,440	+652
売上高合計	86,033	100.0%	105,176	100.0%	+19,143	+22.3%	96,200	+8,976
海外売上高	84,876	98.7%	104,082	99.0%	+19,205	+22.6%	94,940	+9,142



所在地別セグメント情報 (2024年2月期・上期実績)

単位:百万円	2023年2月期		2024年2月期			
	上期実績	利益率	上期実績	利益率	前年同期増減額	前年同期増減率
日本売上高	29,448	—	36,166	—	+6,717	+22.8%
セグメント利益	5,739	19.5%	12,458	34.4%	+6,718	+117.0%
米国売上高	47,192	—	56,618	—	+9,425	+20.0%
セグメント利益	4,980	10.6%	5,167	9.1%	+186	+3.7%
英国売上高	6,022	—	7,488	—	+1,466	+24.4%
セグメント利益	510	8.5%	842	11.2%	+332	+65.1%
フランス売上高	3,282	—	4,867	—	+1,585	+48.3%
セグメント利益	236	7.2%	520	10.7%	+283	+119.7%
中国売上高	87	—	35	—	△51	△59.5%
セグメント利益	△13	—	26	75.4%	+39	—

➤ 日本セグメント (竹内製作所)

- ・ 建設機械の開発、製造
- ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売

➤ 米国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.)

- ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
- ・ **【NEW】建設機械の製造**

➤ 中国セグメント (竹内工程機械(青島)有限公司)

- ・ 中国での建設機械の販売
- ・ 中国及びアジア向けの建設機械の製造
- ・ 日本セグメント向けの建設機械の製缶品(部材)の製造、調達及び販売

➤ 英国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.)

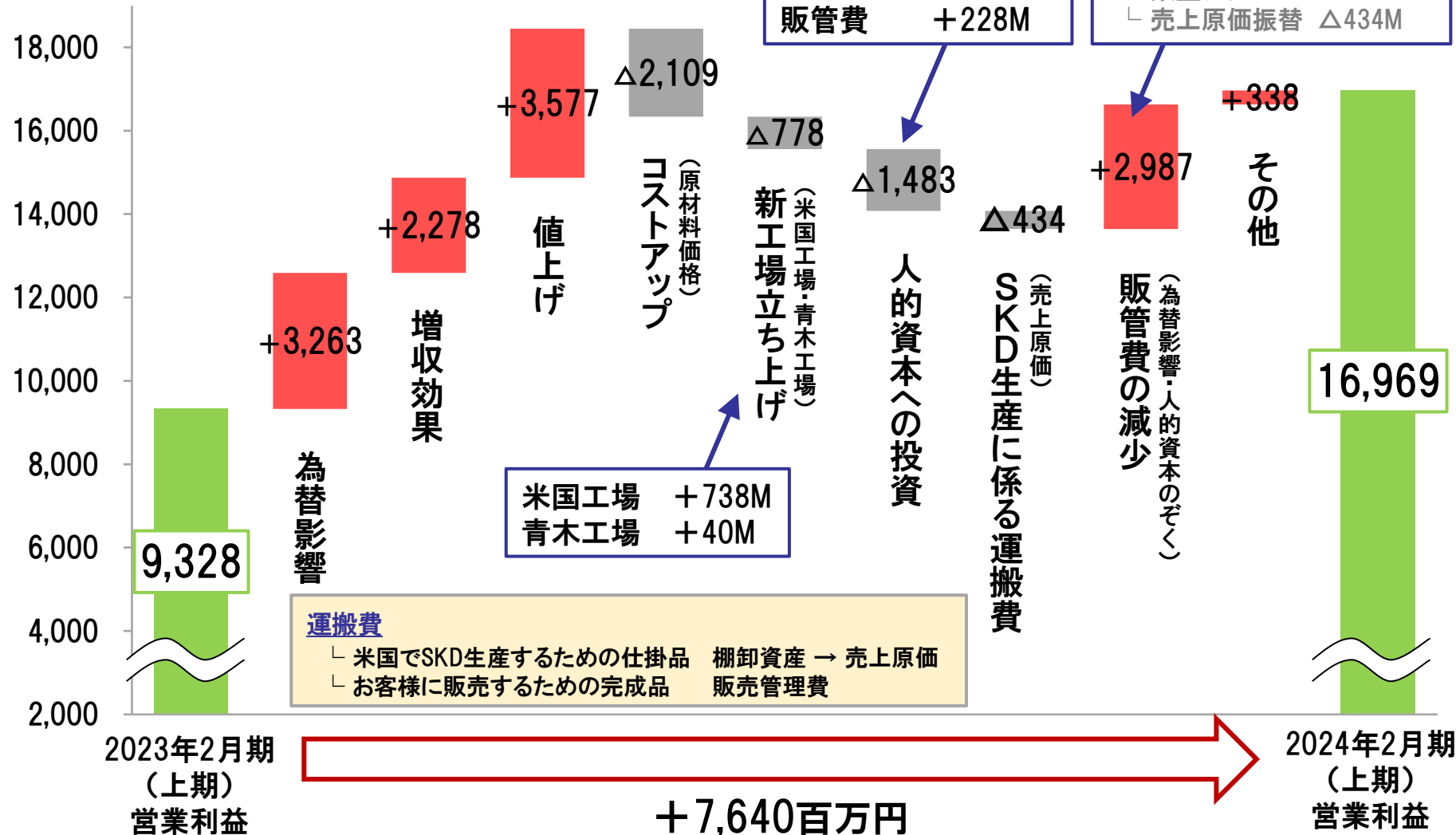
- ・ 英国での建設機械の販売

➤ フランスセグメント (TAKEUCHI FRANCE S.A.S.)

- ・ フランスでの建設機械の販売

営業利益増減要因 (2024年2月期・上期実績)

単位:百万円



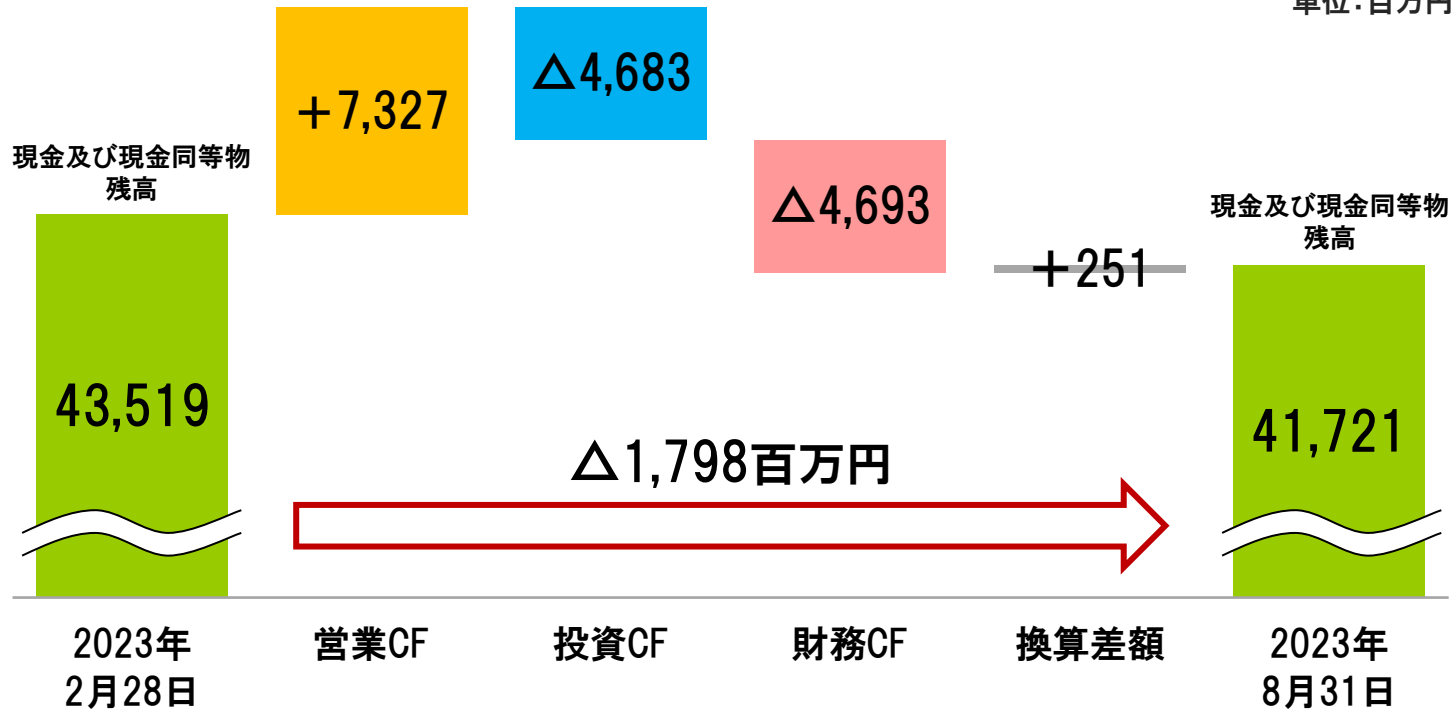
連結貸借対照表 (2023年8月31日現在)

単位:百万円

		2023年2月28日		2023年8月31日			
		残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	43,995	27.7%	42,197	24.0%	△1,798	△4.1%
	受取手形及び売掛金	35,739	22.5%	45,696	26.0%	+9,956	+27.9%
	棚卸資産	47,723	30.1%	50,569	28.8%	+2,846	+6.0%
	その他流動資産	3,001	1.9%	4,132	2.4%	+1,130	+37.7%
	流動資産	130,459	82.2%	142,595	81.1%	+12,135	+9.3%
	固定資産	28,326	17.8%	33,155	18.9%	+4,829	+17.0%
合計		158,785	100.0%	175,750	100.0%	+16,965	+10.7%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金	26,755	16.9%	28,650	16.3%	+1,894	+7.1%
	その他流動負債	9,620	6.1%	11,109	6.3%	+1,488	+15.5%
	流動負債	36,376	22.9%	39,759	22.6%	+3,383	+9.3%
	固定負債	606	0.4%	644	0.4%	+37	+6.2%
	負債合計	36,983	23.3%	40,404	23.0%	+3,420	+9.2%
	純資産合計	121,802	76.7%	135,346	77.0%	+13,544	+11.1%
	合計	158,785	100.0%	175,750	100.0%	+16,965	+10.7%

連結キャッシュ・フロー計算書 (2024年2月期・上期実績)

単位:百万円



営業キャッシュ・フロー	増減額	投資キャッシュ・フロー	増減額	財務キャッシュ・フロー	増減額
税金等調整前当期純利益	17,072	有形固定資産の取得	△4,583	配当金の支払	△4,677
減価償却費	1,285	無形固定資産の取得	△198		
たな卸資産の減少	61	有価証券の償還による収入	100		
運転資金の増加	△7,421				
法人税等の支払	△3,067				
その他	△602	その他	△1	その他	△16
合計	+7,327	合計	△4,683	合計	△4,693

▶ 2024年2月期・連結業績 上期実績

▶ 2024年2月期・連結業績 通期予想

▶ トピックス

- 生産能力の増強
(米国工場、青木工場の稼働状況)
- 足元の受注高と受注残高について
- 建設機械の電動化に向けての課題

▶ ご参考資料

業績予想のポイント（2024年2月期・通期予想）

単位:百万円		前回予想（2023年4月11日公表）			修正後予想（2023年10月12日公表）				
		上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
日	本	1,260	1,200	2,460	1,094	1,235	2,330	△130	△5.3%
北	米	51,510	50,570	102,080	56,610	53,489	110,100	+8,020	+7.9%
欧	州	40,900	38,680	79,580	44,318	42,881	87,200	+7,620	+9.6%
ア	ジ	90	90	180	60	119	180	—	—
そ	の	2,440	2,260	4,700	3,092	2,097	5,190	+490	+10.4%
売上高合計		96,200	92,800	189,000	105,176	99,823	205,000	+16,000	+8.5%
営業利益		14,500	9,500	24,000	16,969	16,130	33,100	+9,100	+37.9%
経常利益		14,400	9,500	23,900	17,072	16,127	33,200	+9,300	+38.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益		10,300	6,900	17,200	12,670	11,529	24,200	+7,000	+40.7%

(1) 下期の製品需要

- 英国では軟化を見込むが、その他の欧州主要国と米国では、力強さを維持する見込み

(2) 電子部品が未装着の仕掛品の先行出荷が3Qで終了

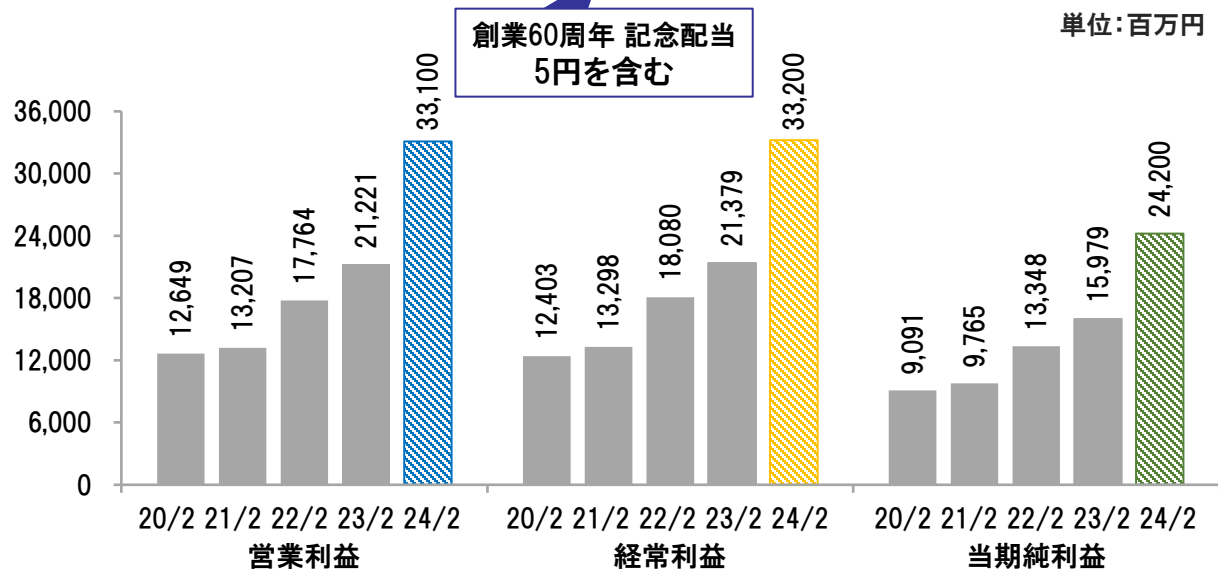
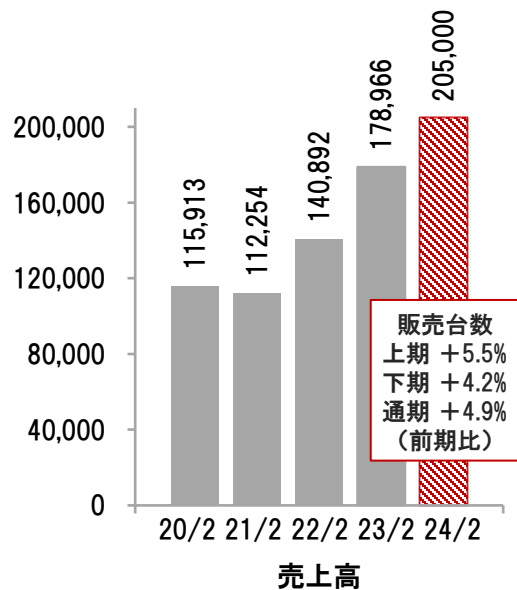
- 当該仕掛品の全てが完成品となり、お客様に販売できる見込み → 下期の販売台数が増加

(3) 売上高、利益面ともに過去最高を予想

- 販売台数の増加、下期での追加値上げ、円安により前回予想を上回る

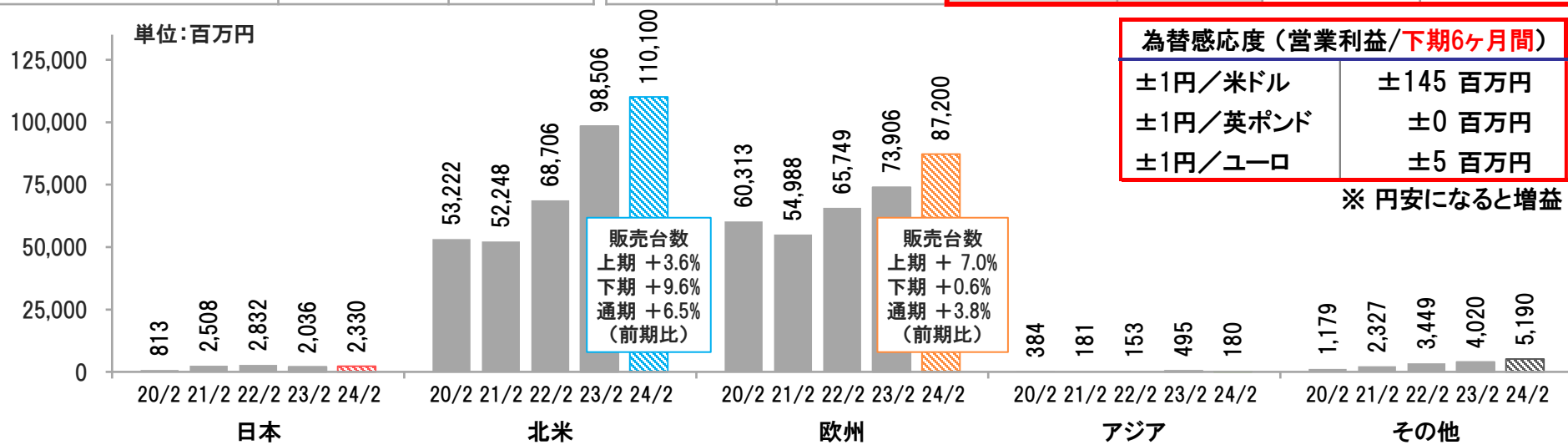
連結業績予想ハイライト (2024年2月期・通期予想)

単位:百万円	2023年2月期		2024年2月期					
	通期	売上比率	上期実績	下期予想	通期予想	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	178,966	—	105,176	99,823	205,000	—	+26,033	+14.5%
■ 営業利益	21,221	11.9%	16,969	16,130	33,100	16.1%	+11,878	+56.0%
■ 経常利益	21,379	11.9%	17,072	16,127	33,200	16.2%	+11,820	+55.3%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	15,979	8.9%	12,670	11,529	24,200	11.8%	+8,220	+51.4%
■ 設備投資額	8,629	4.8%	4,798	4,251	9,050	4.4%	+420	+4.9%
■ 減価償却費	2,039	1.1%	1,285	2,318	3,604	1.8%	+1,564	+76.7%
1株純利益	335.19円	配当性向	265.81	—	507.68円	配当性向	+172.49円	+51.5%
1株配当金	98.00円	29.2%	—	—	158.00円	31.1%	+60.00円	+61.2%



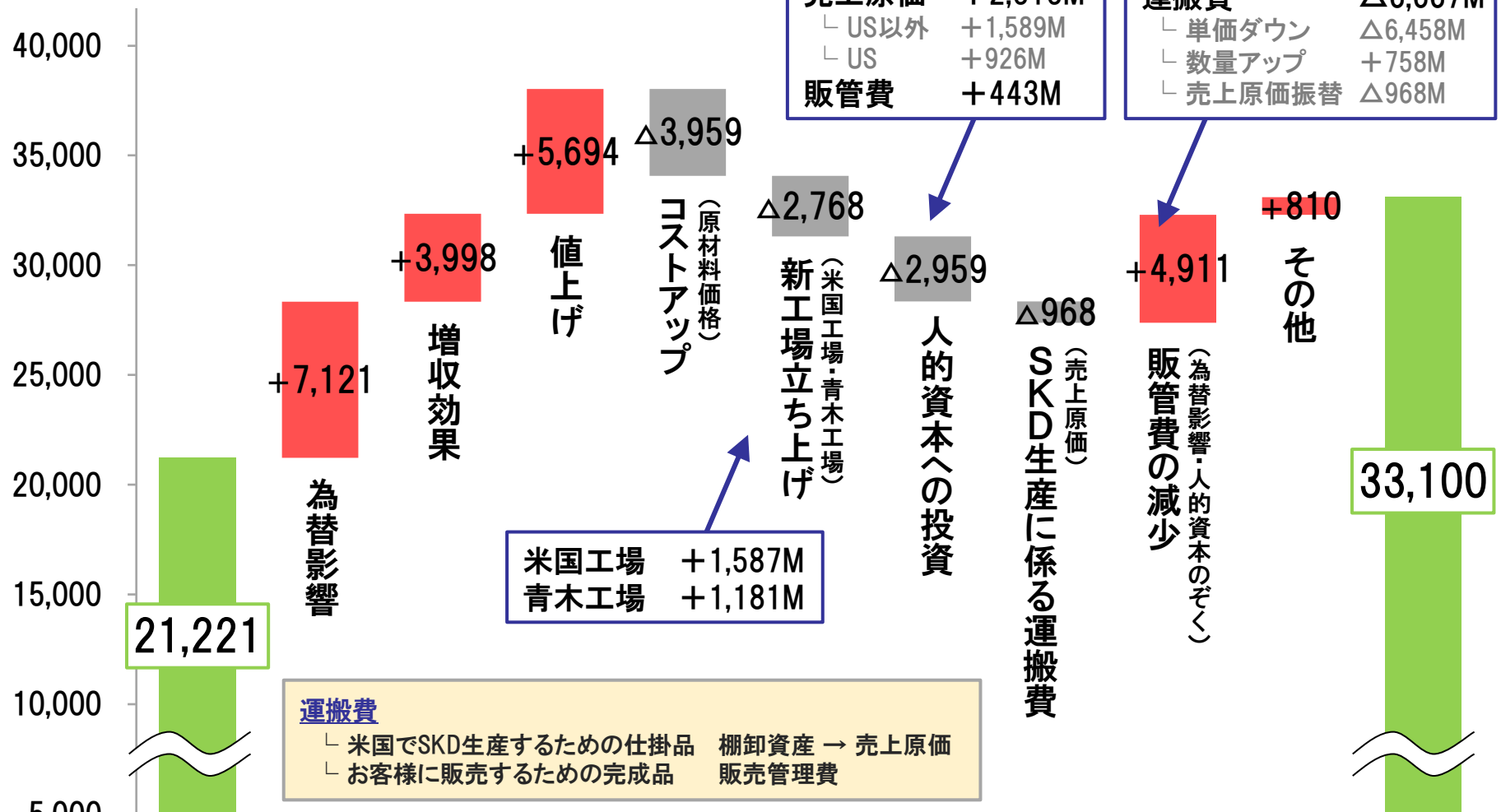
地域別売上高予想 (2024年2月期・通期予想)

単位:百万円	2023年2月期		2024年2月期					
	通期	構成比	上期実績	下期予想	通期予想	構成比	増減額	増減率
■ 日本	2,036	1.1%	1,094	1,235	2,330	1.1%	+293	+14.4%
■ 北米	98,506	55.0%	56,610	53,489	110,100	53.7%	+11,593	+11.8%
■ 欧州	73,906	41.3%	44,318	42,881	87,200	42.5%	+13,293	+18.0%
■ アジア	495	0.3%	60	119	180	0.1%	△315	△63.7%
■ その他	4,020	2.2%	3,092	2,097	5,190	2.5%	+1,169	+29.1%
売上高合計	178,966	100.0%	105,176	99,823	205,000	100.0%	+26,033	+14.5%
円/米ドル	133.12円	—	138.45円	137.00円	137.30円	—	+4.18円	+3.1%
円/英ポンド	162.58円	—	172.16円	174.00円	173.26円	—	+10.68円	+6.6%
円/ユーロ	139.81円	—	149.84円	149.00円	149.56円	—	+9.75円	+7.0%
円/人民元	19.49円	—	19.55円	18.70円	19.12円	—	△0.37円	△1.9%



営業利益増減要因 (2024年2月期・通期予想)

単位:百万円



売上原価	+2,515M
└ US以外	+1,589M
└ US	+926M
販管費	+443M

運搬費	△6,667M
└ 単価ダウン	△6,458M
└ 数量アップ	+758M
└ 売上原価振替	△968M

米国工場	+1,587M
青木工場	+1,181M

運搬費	
└ 米国でSKD生産するための仕掛品	棚卸資産 → 売上原価
└ お客様に販売するための完成品	販売管理費

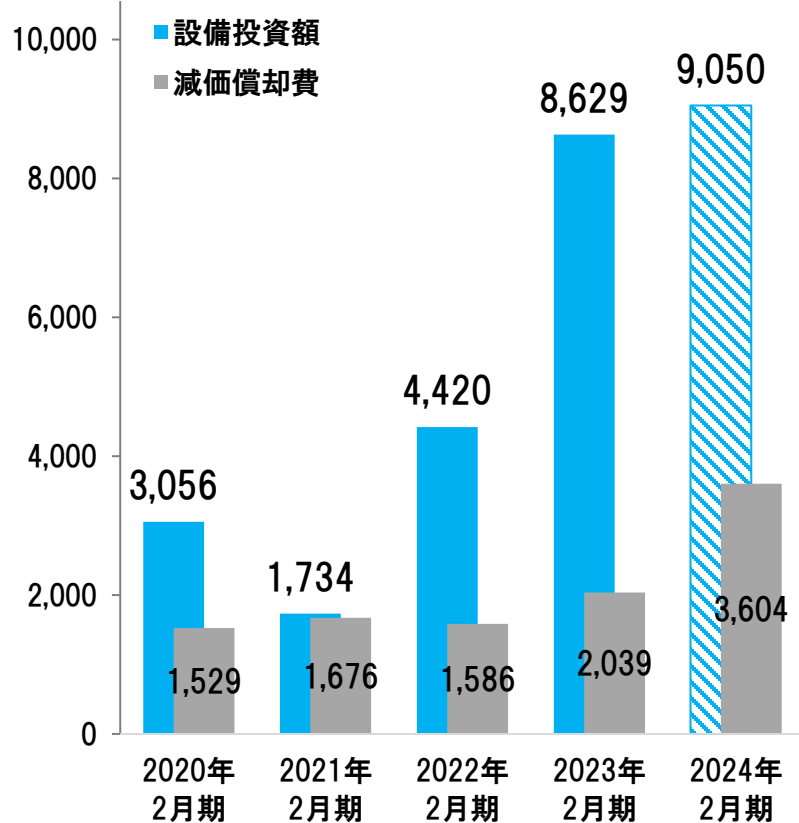
2023年2月期
(通期)
営業利益

2024年2月期
(通期)
営業利益

+11,878百万円

設備投資計画

単位: 百万円



◇ 2023年2月期 設備投資の内訳

青木工場	30億円	当期支払い分(建仮) 30億円
米国工場	47億円	土地・建物・付属設備
その他	10億円	治具、金型、試作機、設備の維持更新
合計	87億円	

◇ 2024年2月期 設備投資計画の内訳

青木工場	50億円	当期支払い分 50億円 既支払い分(建仮) 60億円
竹内US	15億円	太陽光パネル └ US本社、米国工場 4.8億円 スラットコンベア 4.5億円 付属設備、機械装置 4.0億円 ほか
社員寮	15億円	本社工場、青木工場の隣地に建設
その他	10億円	治具、金型、試作機、設備の維持更新
合計	90億円	

2021年2月期

Takeuchi US 倉庫増築(約5.4億円)



2022年2月期

USTレーニングセンター(約5億円)



2023年2月期

米国工場(約47億円)



2024年2月期【NEW】

青木工場(約110億円)



▶ 2024年2月期・連結業績 上期実績

▶ 2024年2月期・連結業績 通期予想

▶ トピックス

- 生産能力の増強
(米国工場、青木工場の稼働状況)
- 足元の受注高と受注残高について
- 建設機械の電動化に向けての課題

▶ ご参考資料

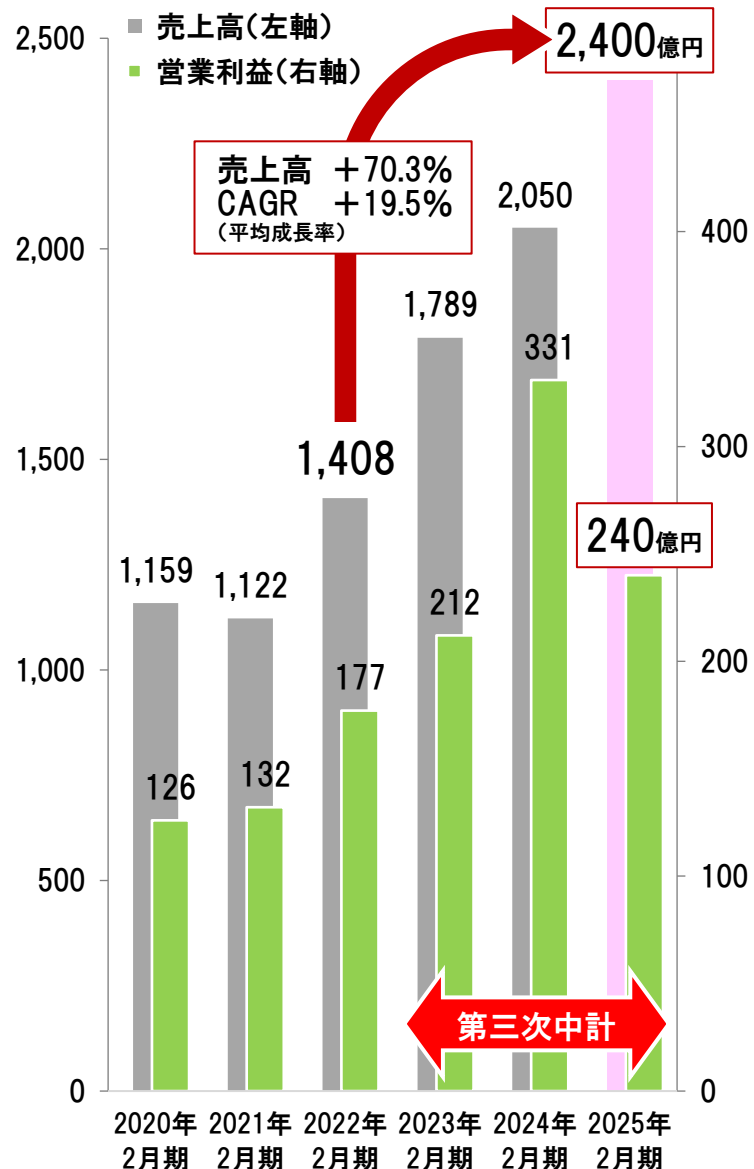
第三次中期経営計画（2023年2月期～2025年2月期）

スローガン、数値目標

パワーアップ、スピードアップ、スケールアップで
売上1,000億円アップ にチャレンジする。
 （連結売上高 1,408億円 → 2,400億円）

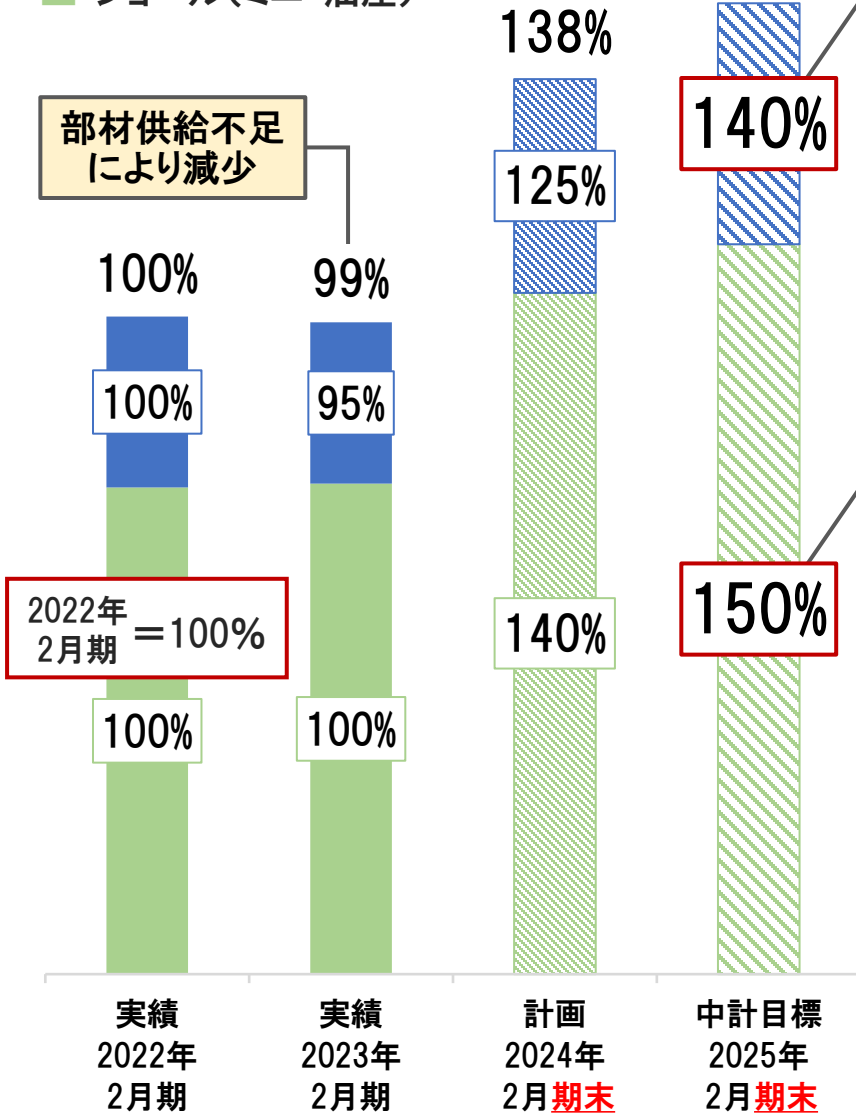
	2022年 2月期	2025年 2月期	増減率
売上高	1,408億円	2,400億円	+70.3%
営業利益 └ 営業利益率	177億円 12.6%	240億円 10.0%	+35.1%
1株当たり当期純利益	279.91円	377.00円	+34.7%
ROE（自己資本利益率）	13.8%	14.0%	—
米ドル	111.72円	115.00円	+3.28円
英ポンド	153.06円	152.00円	△1.06円
ユーロ	130.57円	127.00円	△3.57円
人民元	17.12円	18.00円	+0.88円

※ 以下のCAPM算定式を基準として、**株主資本コストを8%**と認識しております。
 リスクフリーレート(1%) + β値(1.2) × マーケットリスクプレミアム(6%)



生産能力の増強

- クローラーローダー
- ショベル(ミニ・油圧)



米国工場 (2022年9月23日～稼働開始)

- ◇ フル稼働: **2025年2月期**の予定
- ◇ Semi Knock Down方式によるクローラーローダーの生産を開始
- ◇ 米国向けSemi Knock Down生産より、欧州向けのクローラーローダー生産を一時的に優先
- ◇ 本社工場から青木工場へのショベル生産の移管完了後、本社工場でのクローラーローダーの生産台数を増やす

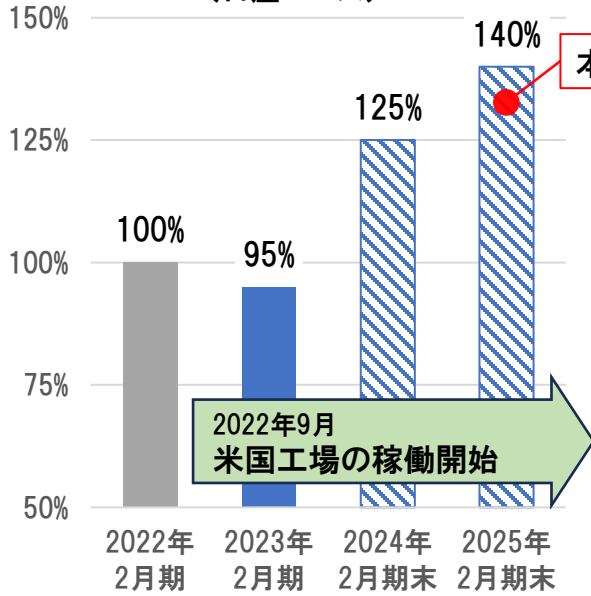
青木工場 (2023年9月1日～稼働開始)

- ◇ フル稼働: **2025年2月期**の予定
- ◇ 4トン～9トンのミドルクラスのショベル生産を本社工場から青木工場に移管する。

		本社工場	米国工場	青木工場
ショベル	4トン未満	○	—	—
	4トン～9トン	—	—	○
	9トン～15トン	○	—	—
クローラーローダー		○/SKD	SKD	—

米国工場の稼働状況 (2023年5月、スラットコンベア導入)

クローラーローダーの生産台数推移
(日産ベース)



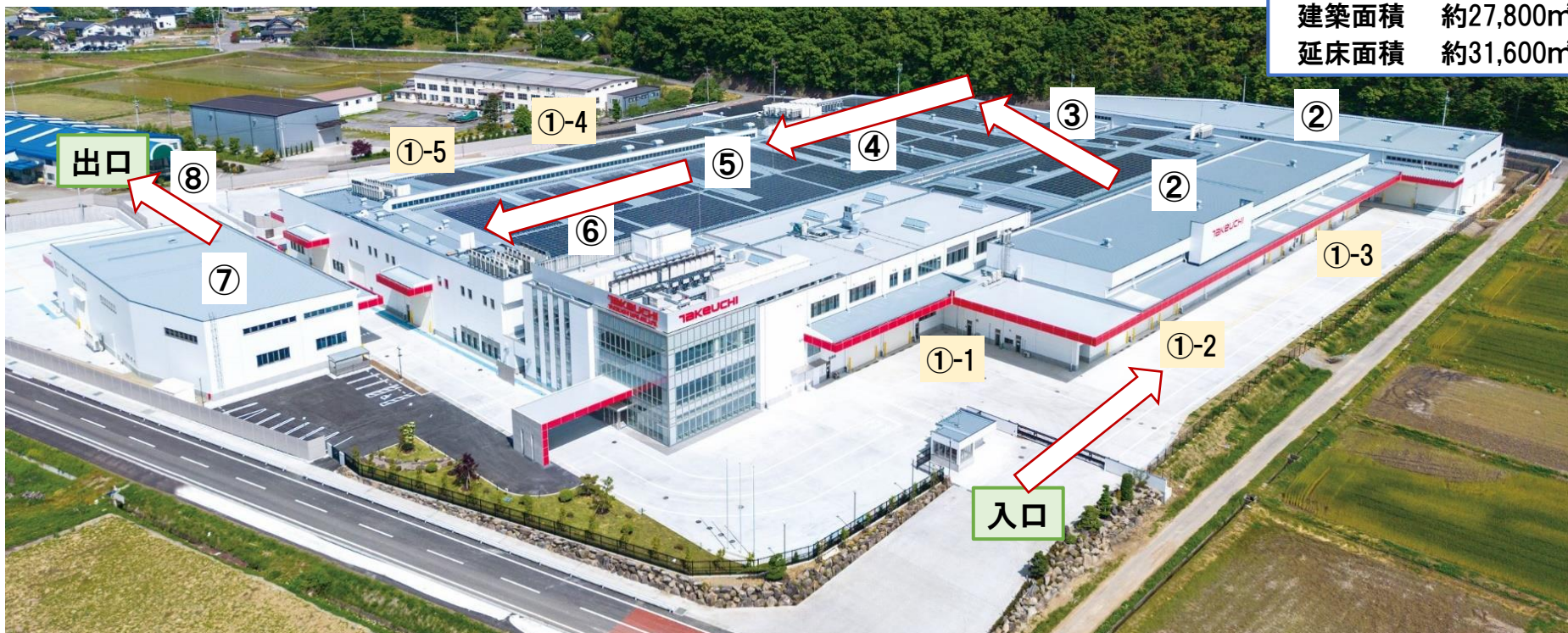
➤ クローラーローダーの生産能力 (本社工場+米国工場)

2023年 8月・実績	2024年 2月・計画	2024年 8月・計画
75%	90%	100%

青木工場が稼働開始 (2023年9月1日～)

青木工場の概要

敷地面積 約50,000㎡
 建築面積 約27,800㎡
 延床面積 約31,600㎡



- ① 搬入口 (①-1～5の計5か所)
- ② 塗装
- ③ ドッキングライン (足回り)
- ④ メインライン (エンジン、油圧機器、ブーム、アーム等)
 ～ ④を過ぎると自走可能になる ～
- ⑤ 性能・運転検査
- ⑥ 艀装ライン (運転席、キャビン、照明等)
- ⑦ 出荷検査 (内外装のチェック)
- ⑧ 出荷

消費電力の大部分を太陽光発電でまかなう。
 CO2フリー電力と合わせて、**グリーン電力100%で工場操業**

➤ 青木工場の生産能力

2023年 8月・実績	2024年 2月・計画	2024年 8月・計画
—	60%	100%

青木工場の特長

➤ 物流管理（荷受け&出荷）

部品納入または製品出荷時間をシステム上で予約・管理し、当社と運送会社が情報共有

- ✓ 時間を分散して作業を行うことで、トラックの待機時間を削減したり、工場内や周辺道路の混雑を回避したりすることが可能
- ✓ 部品の到着遅延も監視できるため、状況に応じて、迅速に生産計画を変更することが可能

➤ ロボット導入

省人化・省力化と同時に、製造現場の安全性が向上（誰もが安心して働きやすい工場）

- ✓ 自動搬送ロボット（AGV）… 生産ラインへの部品搬送
- ✓ 塗装ロボット



青木工場の荷受け場



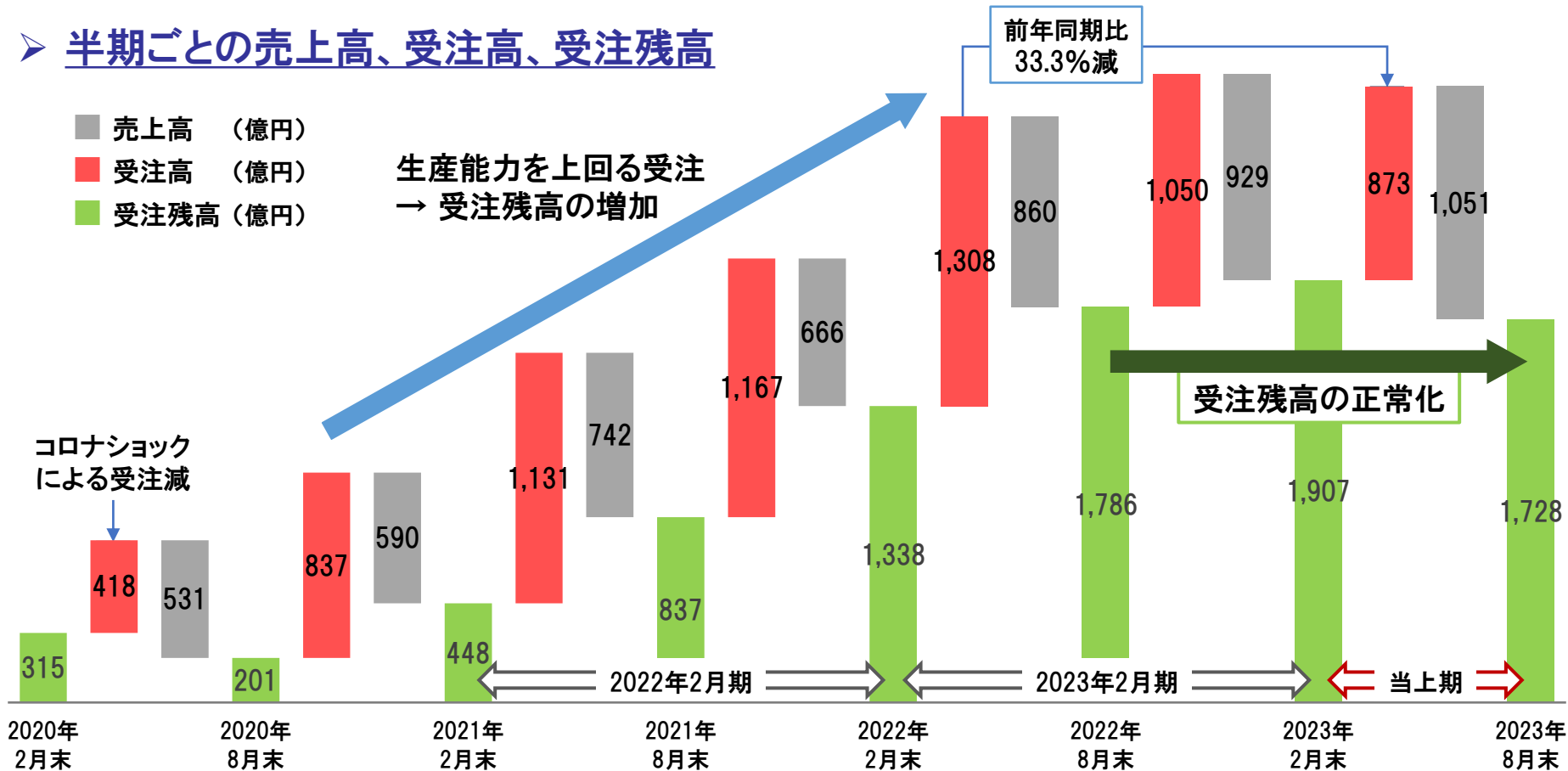
AGV（磁気ガイド上を走行）



塗装ロボット

受注高は調整期間へ（製品需要は力強さを維持 → 継続を見込む）

半期ごとの売上高、受注高、受注残高



- ✓ 積み上がった受注残高の正常化に向けて、お客様と当社グループの双方で受発注を調整
→ 受注残高の正常なレベル: 月商の3~4ヶ月分
- ✓ 米国工場と青木工場により、生産能力は約1.5倍となる
→ 生産・販売の拡大により、受注残高を解消

(単位: 億円)	2023年2月期				2024年2月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	424	436	468	460	530	521
受注高	665	642	470	579	476	396
受注残高	1,580	1,786	1,788	1,907	1,853	1,728

建設機械の電動化に向けての課題

① バッテリー価格の低下&性能向上（稼働時間は長く、充電時間は短く）

- ✓ 電池式の建設機械は、ディーゼル式に比べて高価（概ね2倍～3倍）
→ この価格増の大半を占めるのがバッテリー
- ✓ 乗用車と比べて、大きなパワー（掘削作業、不整地の走破etc）が必要な建設機械の場合、大容量のバッテリーが必要 → 販売価格は高くなり、充電に長時間を要する

② 充電インフラの充実

- ✓ 現状、都市部でさえ充電インフラは不十分であり、山間部では皆無
→ 建設機械が山間部でも稼働することを考えると、100%電動化は考えにくい
→ 電池式以外の低GHGテクノロジー（バイオ燃料、燃料電池etc）

③ 発電インフラの低GHG化

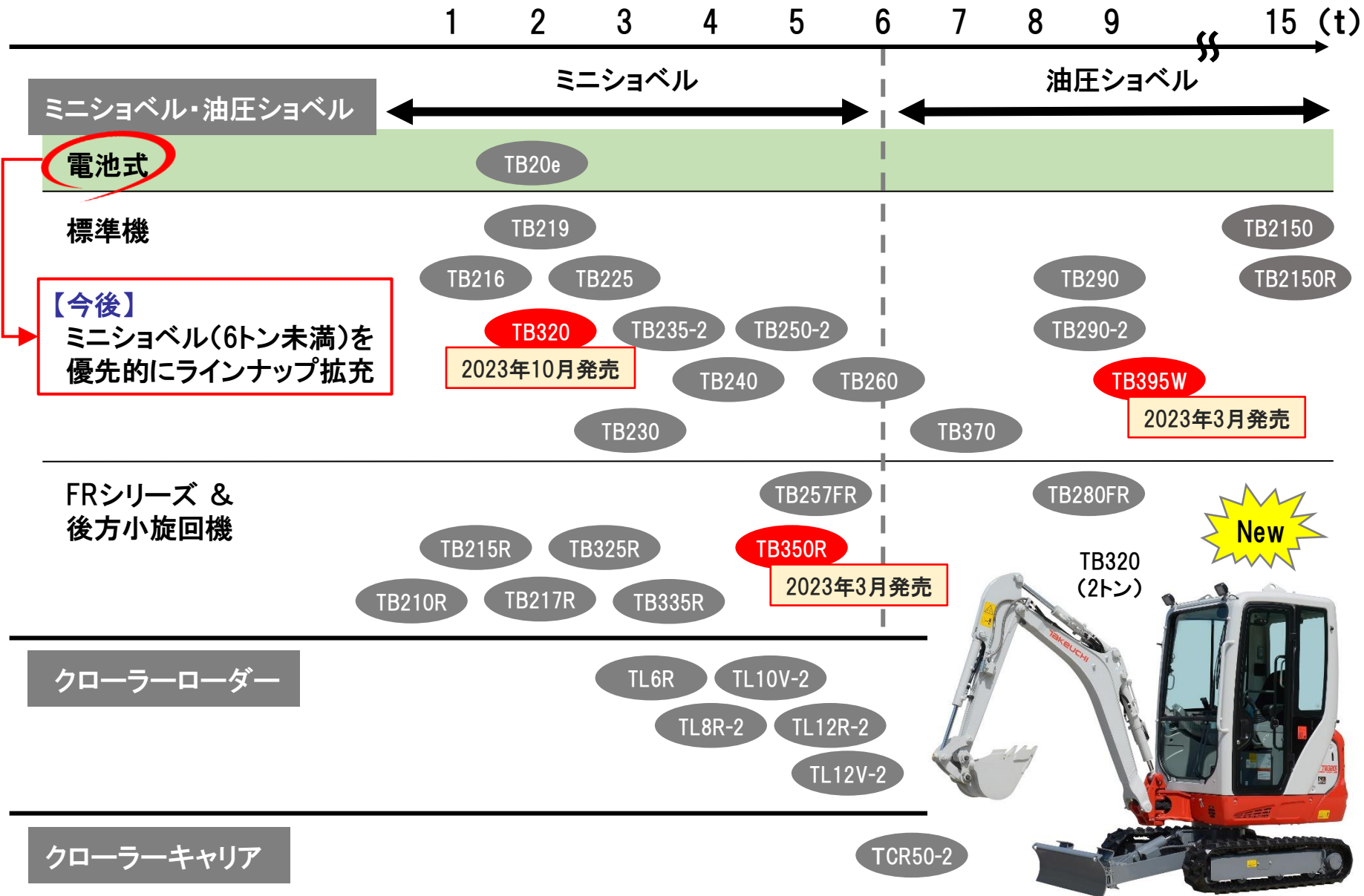
- ✓ 現状の発電インフラでは、充電時に間接排出（Scope2）が発生する
→ 化石燃料による発電から、水力・風力・太陽光などの非化石燃料による発電へのシフト

建設機械の電動化に向けては、外的要因の課題が多くあるものの、当社グループとしては、

6トン未満の電池式ミニショベルのラインナップ拡充に取り組む

油圧ショベル、クローラーローダーはその後

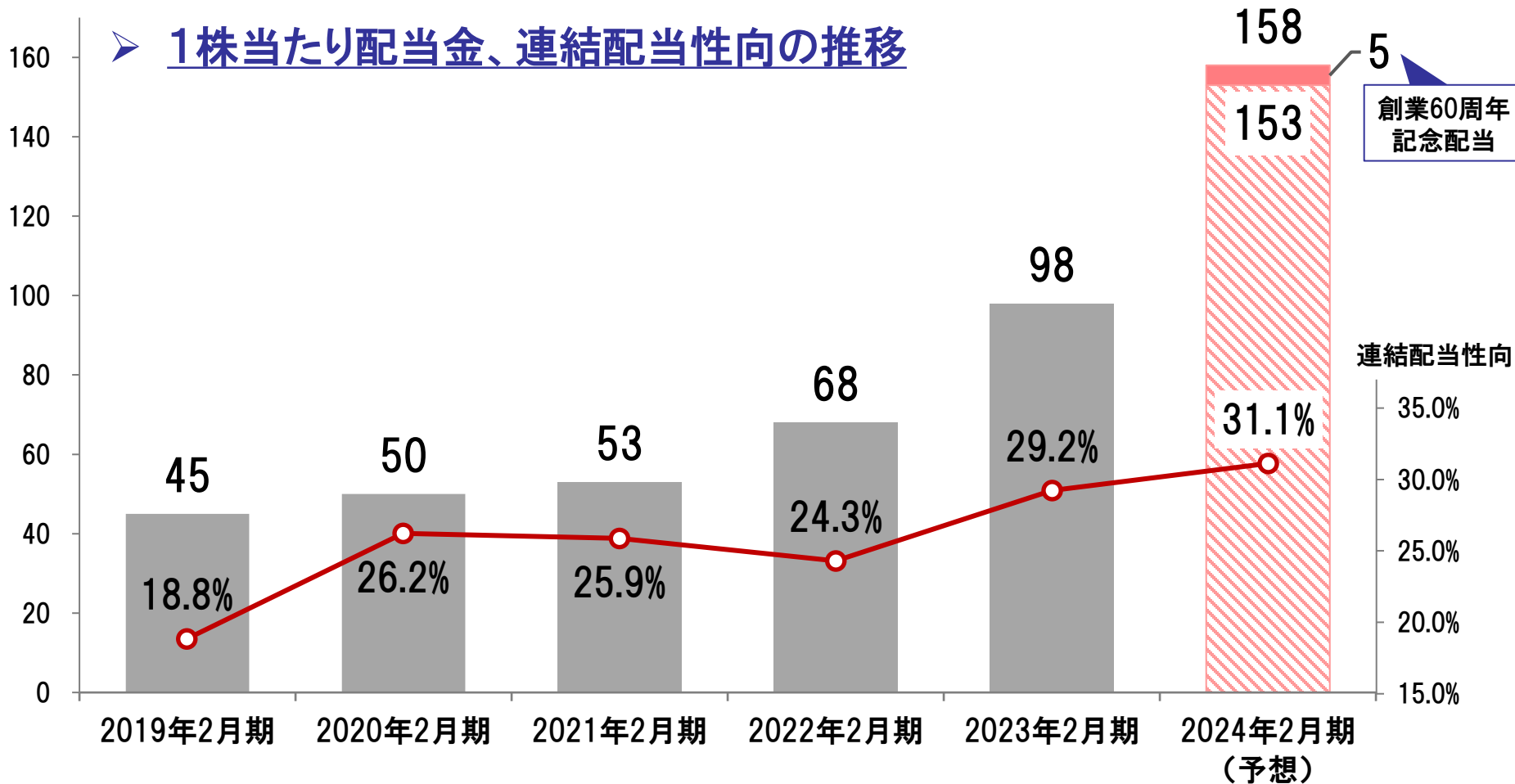
製品ラインナップ



株主還元、連結配当性向

基本方針： 経営体質の強化並びに今後の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、**連結配当性向30%を目安**として、安定した配当の継続に努める。

自己株取得： 株価水準や資本効率等を勘案のうえ、**自己株式の取得**を適宜実施する。



▶ 2024年2月期・連結業績 上期実績

▶ 2024年2月期・連結業績 通期予想

▶ トピックス

- 生産能力の増強
(米国工場、青木工場の稼働状況)
- 足元の受注高と受注残高について
- 建設機械の電動化に向けての課題

▶ **ご参考資料**

社是、企業理念

創造

豊かな感性をもって、ニーズに応えた商品開発をする。

社是

挑戦

夢と若さをもって、より高い目標に向かって果敢に行動する。

協調

和と思いやりの心をもって、調和の取れた社会との共生を図る。

企業理念

世界初から世界の TAKEUCHI へ

■ 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、TAKEUCHIのものづくりを追求します。

■ グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。

■ 一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

会社概要

会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2023年2月28日現在)	
売上高(連結)	178,966百万円 (2023年2月期)	
従業員数(連結)	1,173名 (2023年8月31日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年5月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

<主力製品>

ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発、生産開始(1971年9月)
- ✓ ミニショベル
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル
製品質量が6トン以上のもの

主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発、生産開始(1986年9月)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ ほとんどが北米需要、北米販売

主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



業績推移

単位:百万円		第57期	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期(予想)	
		2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	前年増減額
日	本	940	813	2,508	2,832	2,036	2,330	+293
北	米	50,696	53,222	52,248	68,706	98,506	110,100	+11,593
欧	州	55,561	60,313	54,988	65,749	73,906	87,200	+13,293
ア	ジ	1,000	384	181	153	495	180	△315
そ	の	1,977	1,179	2,327	3,449	4,020	5,190	+1,169
他								
売	上	110,175	115,913	112,254	140,892	178,966	205,000	+26,033
高								
営	業	15,411	12,649	13,207	17,764	21,221	33,100	+11,878
利	益							
経	常	15,496	12,403	13,298	18,080	21,379	33,200	+11,820
利	益							
親	会	11,391	9,091	9,765	13,348	15,979	24,200	+8,220
社	株							
主	に							
帰	属							
す	る							
当	期							
純	利							
益								
1	株	238.83円	190.64円	204.78円	279.91円	335.19円	507.68円	+172.49円
純	利							
益								
1	株	45.00円	50.00円	53.00円	68.00円	98.00円	158.00円	+60.00円
配	当							
金								
円	/	110.06円	109.21円	106.13円	111.72円	133.12円	137.30円	+4.18円
米	ド							
ル								
円	/	145.91円	139.49円	137.88円	153.06円	162.58円	173.26円	+10.68円
英	ポ							
ン	ド							
※	1							
円	/	129.16円	121.46円	122.91円	130.57円	139.81円	149.56円	+9.75円
ユ	ー							
ロ								
円	/	16.64円	15.82円	15.41円	17.12円	19.49円	19.12円	△0.37円
人	民							
元								
純	資	77,180	83,683	89,908	104,083	121,802		
資	産							
総	資	103,557	108,982	115,525	137,201	158,785		
資	産							
自	己	74.5%	76.8%	77.8%	75.9%	76.7%		
資	本							
比	率							
R	O	15.7%	11.3%	11.3%	13.8%	14.1%		
E	※							
2								
R	O	15.9%	11.7%	11.8%	14.3%	14.4%		
A	※							
3								

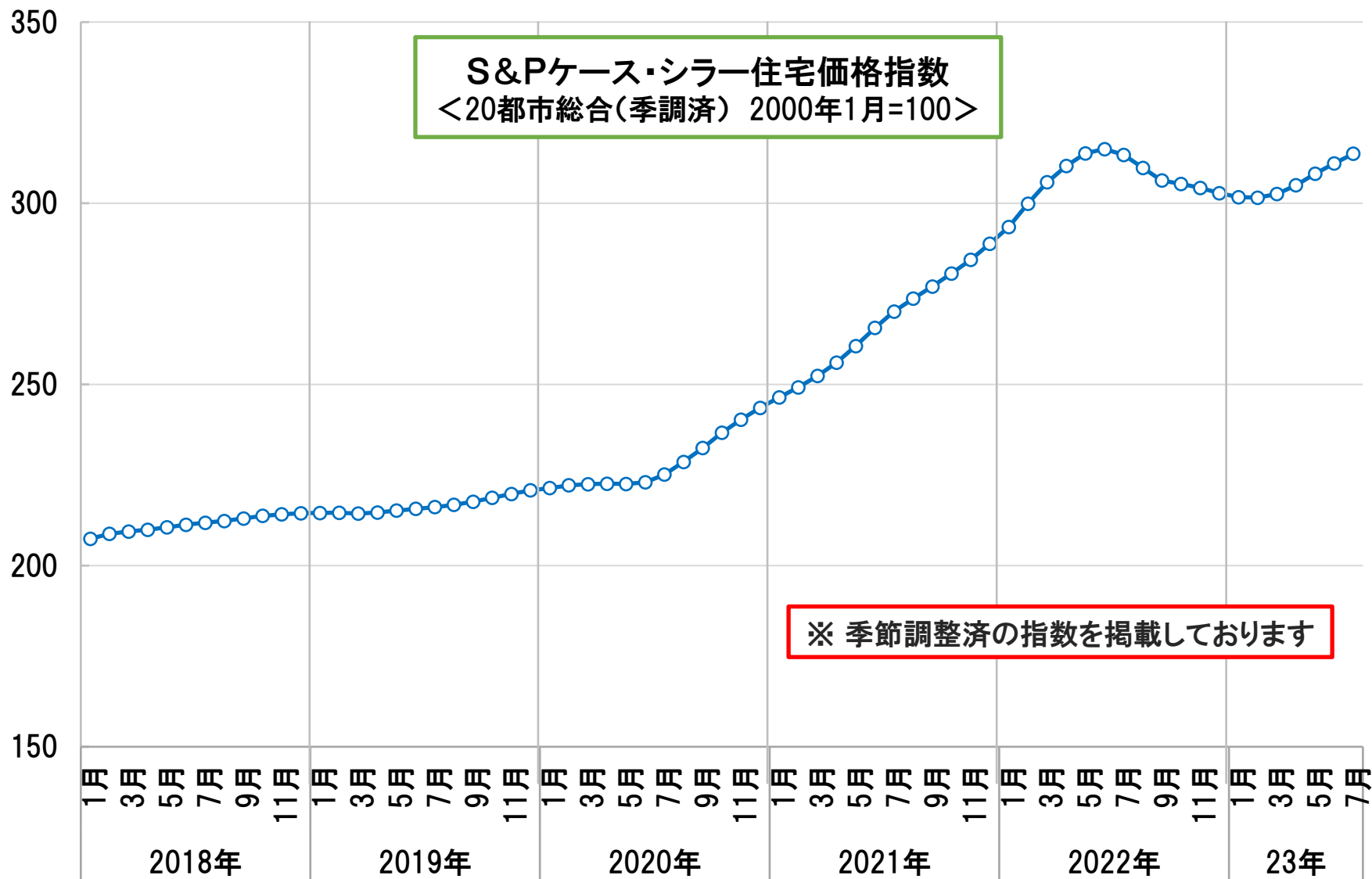
	上期実績	下期前提
USD	138.45円	137.00円
GBP	172.16円	174.00円
EUR	149.84円	149.00円
RMB	19.55円	18.70円

※1 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

※2 ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 純資産 × 100 (純資産は期首・期末の平均値)

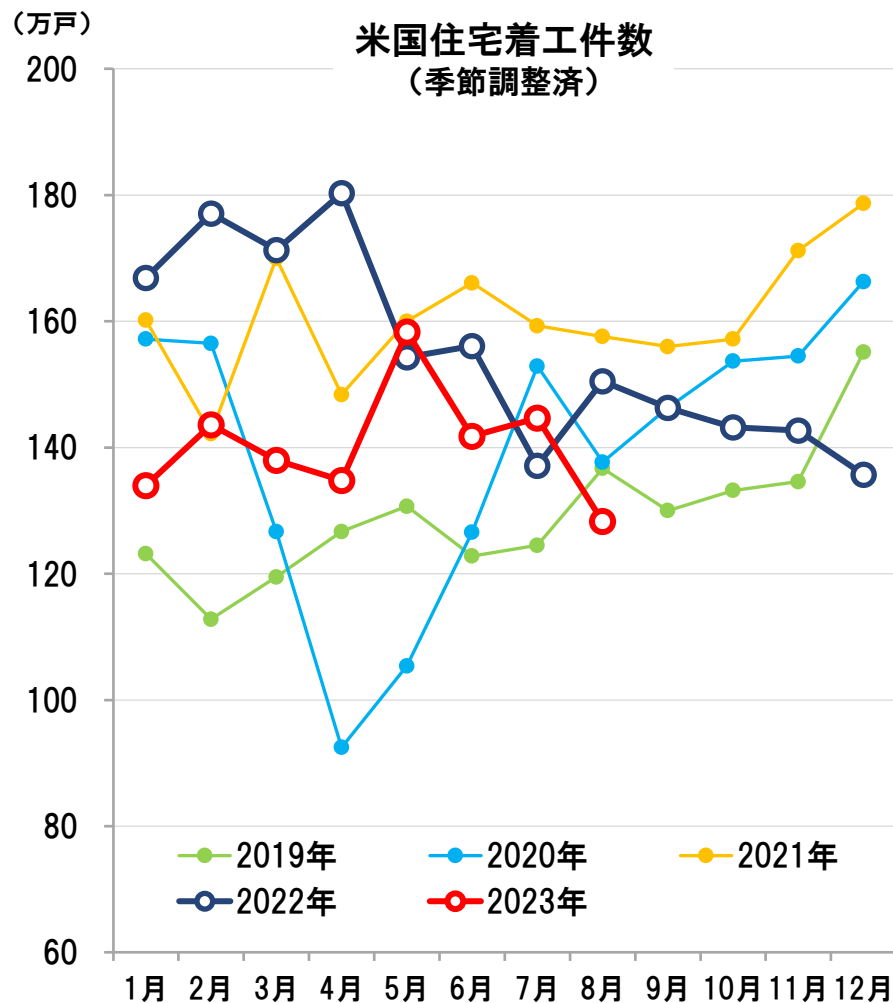
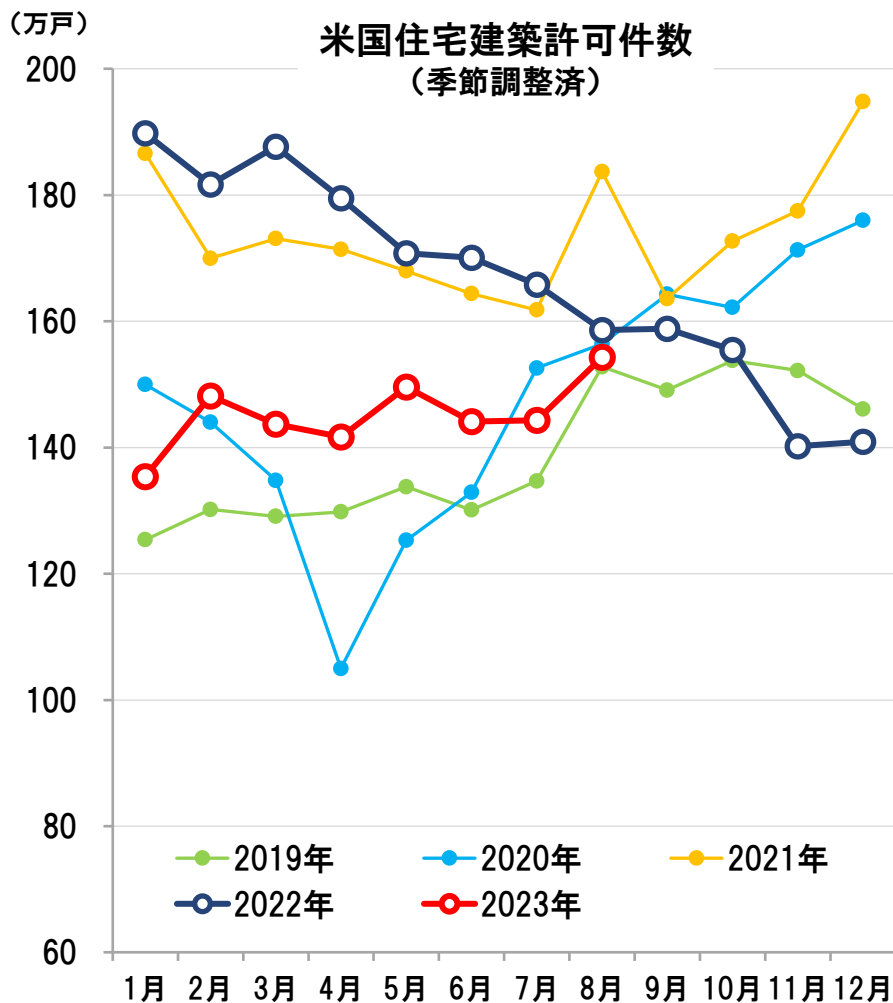
※3 ROA(総資産経常利益率) = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 (総資産は ")

市場見通し



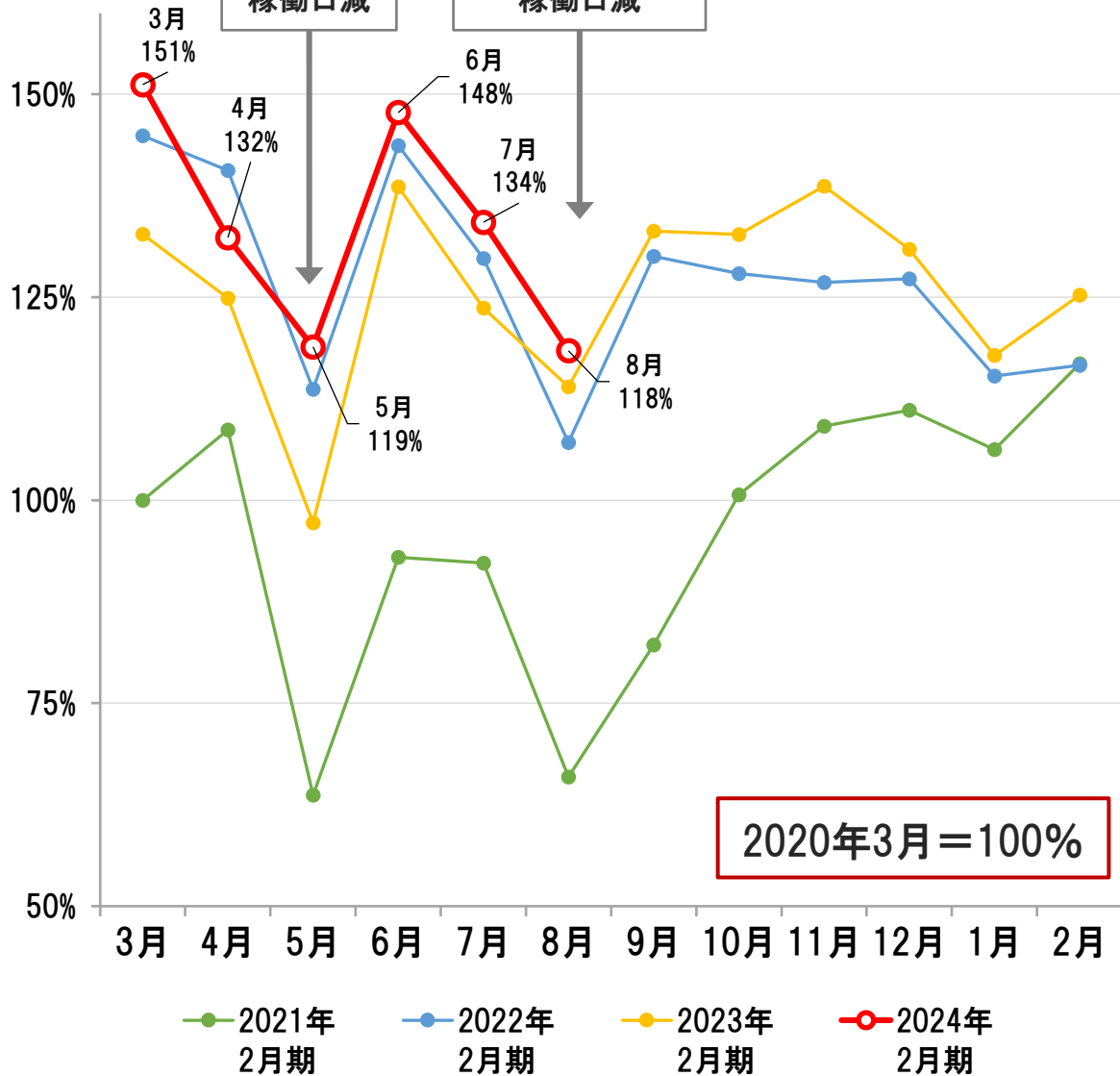
市場見通し

- 2020年2月～4月は、コロナ禍により住宅需要は急激に冷え込んだ。
- 2020年5月以降、経済活動の再開とともにV字回復を果たし、その後、高水準を維持した。
- 2022年3月以降、米国利上げにより減速したが、需要そのものは根強く、コロナ前の水準へ戻る。

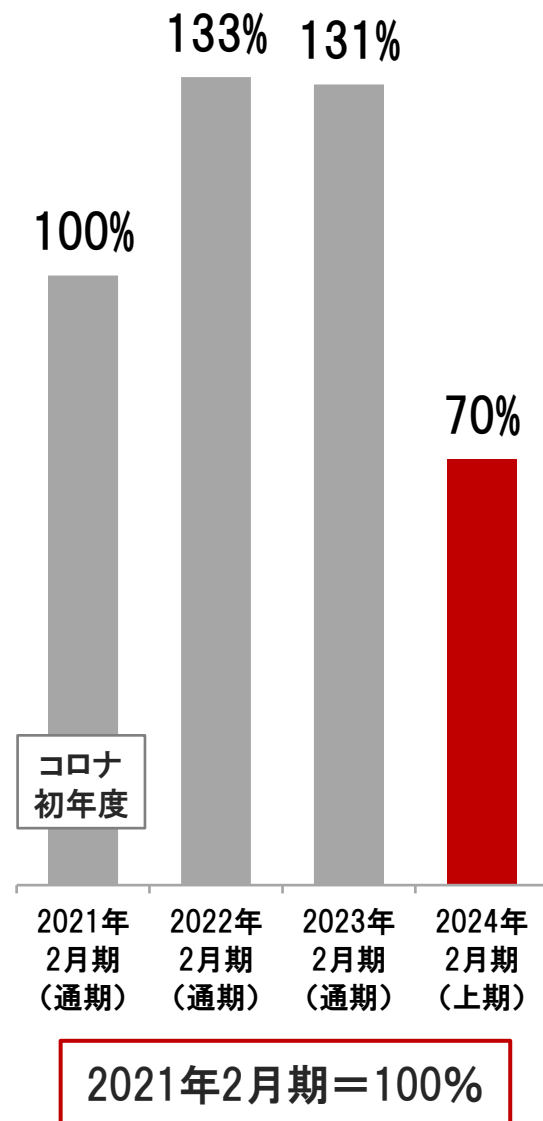


生産台数の推移

【月別推移】



【年度別推移】



ESG重要課題(マテリアリティ)一覧

#	E	S	G	SDGs	社会課題	取り組みテーマ	目標
1	○			13	気候変動の抑制	電池式ミニショベルの開発・製造・販売	①
2	○			13		工場のGHG排出の削減	②
3	○			7 13		工場のエネルギー効率向上、再生可能エネルギー利用拡大	②
4	○			12	循環型経済の実現	工場の3R(Reduce, Reuse, Recycle)の取り組み	
5	○			12 13	環境負荷の削減 環境汚染の防止 化学物質管理	環境負荷を抑えた建設機械の開発・製造・販売	①
6	○			6 12		工場の化学物質排出、排水の削減	
7	○			12		SDS(安全データシート)、Reach規制、RoHS指令の対応	
8		○		8	持続可能な街づくり	市場ニーズに細かく応えた製品開発(工事現場の能率向上)	
9		○		11		レジリエントな街づくりに寄与する建設機械の開発・製造・販売	
10		○		8	お客様への責任ある対応	エンドユーザーとのつながり強化(製品・サービス情報の拡充)	
11		○		10 16	人権尊重 適正な労働慣行	雇用差別の撤廃(障がい者雇用など)	
12		○		10 16		ハラスメントの防止(ハラスメント防止教育の実施)	④
13		○		3	労働安全衛生、従業員の健康	労災の撲滅、健康経営の推進	③
14		○		4	人材開発	人財育成の推進	④
15		○		5 8	ワークライフバランスの推進	育児・介護休業、時短勤務等の制度利用推奨	⑤
16		○	○	5 8	女性活躍推進の強化	ダイバーシティ(女性、外国人の活躍推進)	⑦
17		○		4 16	地域の次世代育成	工場見学、講師派遣、自立支援学校との連携	
18	○	○		8 12	環境・社会に配慮した サプライチェーンの構築	CSR調達方針の策定、実行	⑥
19	○	○		8 12		サプライヤーにCSR調達方針の同意書を依頼	⑥
20	○			12		製品廃棄時の解体・回収・リサイクル	
21		○		16	コンプライアンス	法令・規制の遵守、反社会的勢力の排除(教育の実施)	④
22		○		16	コーポレートガバナンス	グローバルガバナンスの強化	
23		○		16	リスクマネジメント	危機管理体制、BCP、情報セキュリティ(IT-BCP)	

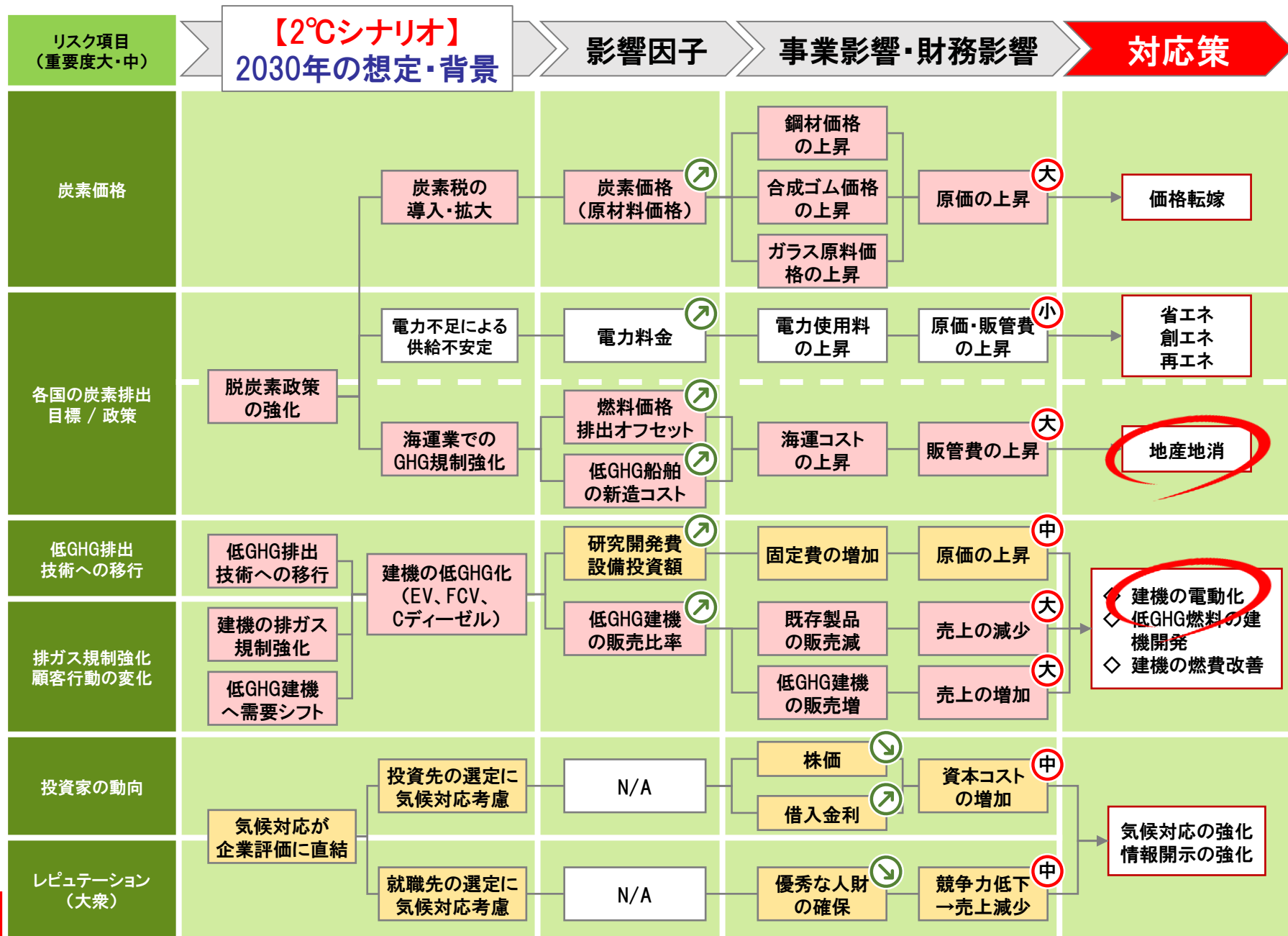
気候変動への対応策 (シナリオ分析)

🔄 : 変化の方向性

影響:大

影響:中

影響:小



お問い合わせ先

株式会社竹内製作所

経営管理部 経営企画課 / ESG推進課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail: ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。



TAKEUCHI®